



山本亮介 議員  
YAMAMOTO Ryoosuke

# Q. コロナ対策の 財源確保は

# A. 補助拡大を国や県に 要望する



▲予定どおり開催された成人式

Q

直近では、成人式が予定されている。現在、豊山町では開催を前提として

今年はありとあらゆるイベントが開催できなかった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響や感染拡大のリスクを考えての決断であると考えているが、少し寂しい気持ちもある。  
一方で、コロナ禍で感染症対策を施しながら、講座やイベントを開催したり、パネル展示に切り替えたりするなど、町の熱意を感じる一面も見られた。

A

教育委員会事務局長

令和2年度は、約1700人の方が新成人として新たな一歩を踏み出される。  
新成人はもちろん、これまで大切に育ててこられた保護者をはじめ、地域の方々が節目の成人式を心待ちにしておられることと思う。

成人式は、9、11、12月の町広報やホームページで案内のとおり、令和3年1月4日に開催を予定している。

開催にあたって、県の対策指針をはじめとした各種ガイドラインに基づき、感染拡大防止のための対策を十分に講じる。  
具体的には、座席を前後左右の間隔をあけて配置し、受付窓口を増設する。また、この

対策を講じるため、保護者の方の来館をご遠慮していただくことになっている。

Q

今後も新型コロナウイルス感染症対策は必要である。自助ではなく、今こそ公助が大切になっていく。しかし、町の財源だけで新型コロナウイルスへの対応をしていくことは困難である。国や県の財政的支援、補助金が必要である。新型コロナウイルス感染症対策の財源確保のため、国に対して地方創生臨時交付金の抜本的拡充、県に対して独自の新型コロナウイルス感染症対策の実施を求めていくべきではないか。

A

総務部長

これまで、新型コロナウイルス感染症対策に係った経費は、表1のとおりである。

また、12月議会でも65歳以上の高齢者の方へのPCR検査補助や小中学校の感染防止対策費なども計上している。  
一方、歳入は現段階で徴収猶予による町税の減収分が1499万円、保育料や副食費、給食費の無料化などに伴う減収分が3880万円となっている。また、町税は今後、コロナ禍の影響により、さらなる減収が見込まれるところである。

このような状況下において、継続的なコロナ対策には財源の手当てが欠かせないことから、県の町村会などを通じて、市町村に対する補助の拡大を国や県に要望していきたいと考えている。

感染症対策経費の実績(表1)

地方創世臨時交付金(国庫補助金)	17億6634万円
県補助金	3994万円
町の財源	4139万円
全体経費	18億4767万円